

## 「当院透析室におけるミネラル・骨代謝の現況と意識調査」

1) 医療法人財団はまゆう会王子病院

2) 医療法人財団はまゆう会相生リハビリテーションクリニック

池間郁枝<sup>1)</sup> 大谷麻岐<sup>1)</sup> 桑原直美<sup>1)</sup> 上野真紀<sup>1)</sup> 渡辺千代子<sup>2)</sup>

瀬川賀世子<sup>1)</sup> 箆島明彦<sup>1)</sup> 田中孝夫<sup>1)</sup> 市丸喜一郎<sup>1)</sup>

### 【目的】

当院におけるミネラル・骨代謝についての現況調査と患者の意識調査を行い、ミネラル・骨代謝に関する患者指導を再考する。

### 【方法】

平成 23 年 1 月から 12 月の維持透析患者 238 名で、年 24 回の採血で P6.0mg/dl 以上になった回数を 4 段階に分類した。P6.0mg/dl 以上の回数が 5 回未満を P コントロール良好群、5 回以上を不良群として比較し、その中で糖尿病 (DM) の割合について分析した。また、ミネラル・骨代謝についての意識調査を行った。

### 【結果】

P コントロール不良群は 42%であった。当院の DM 有病率は全体の 33%であるのに対し、P コントロール不良群では 43%であった。意識調査で、ミネラル・骨代謝障害について知らない患者は 49%、薬の飲み忘れがある患者は 27%であった。

### 【考察及び結語】

ミネラル・骨代謝についての理解度や服薬コンプライアンスが不良である患者が予想以上に多かった。DM 患者において P コントロール不良傾向にある。今後、ミネラル・骨代謝についての理解を深め、服薬コンプライアンスが向上出来るよう、継続的な関わりが必要である。